

あ〜気持ちいい〜

〜自立排泄の重要性〜

# 特別養護老人ホームシャローム

昭和59年8月 横須賀市走水にて開所  
定員120名(入所108名 短期入所12名)  
一般虚弱棟 58名 認知症専門棟62名

理念「いのちを敬い、いのちを愛し、いのちにつかえることによって神の愛の実現に奉仕する」

# 基本の三大介助

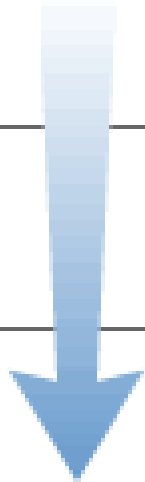
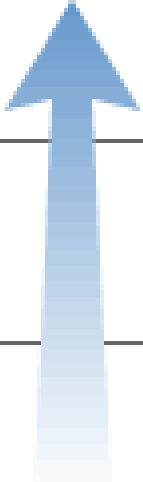
食事介助

排泄介助

入浴介助



# 排泄介助・自立排泄

ケアの段階	障害の進行 (加齢に伴い 障害は重度化 していきがち です)	ケアの目標 (自立排泄をめ さした段階的目 標設定が必要で す)	障害に合わせたケア
自立の段階			(1) 排泄見守り (2) 排泄支援 (言葉かけ、同行)
一部介助の段階			(3) トイレ誘導 (時間を見計らって) (4) ポータブルトイレ誘導 (時間を見計らって) (5) 尿器・便器介助 (時間を見計らって)
全介助の段階			(6) トイレで立っておむつ交換 (7) ポータブルトイレで座っておむつ交換 (8) ベッドで寝た姿勢でおむつ交換

# 排泄障害による制限・制約

運動機能障害

認知機能障害

内臓機能障害

# 排泄障害

・ 身体的側面

・ 心理的側面

・ 社会的側面

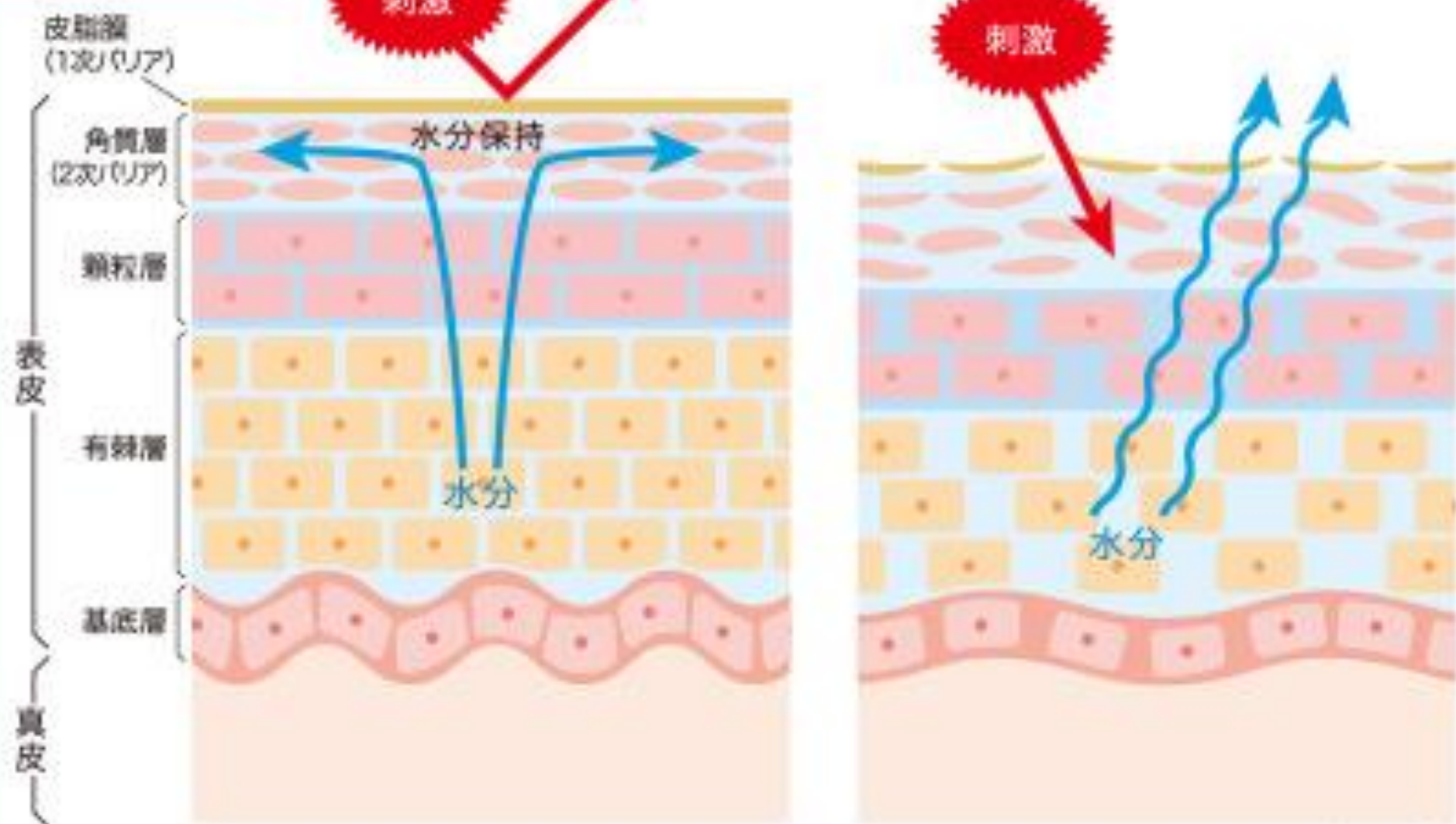
・ 文化的側面

図1

皮膚断面図

①正常な皮膚

②バリア機能が低下した高齢者の皮膚



イメージ図



図2

浸軟している皮膚

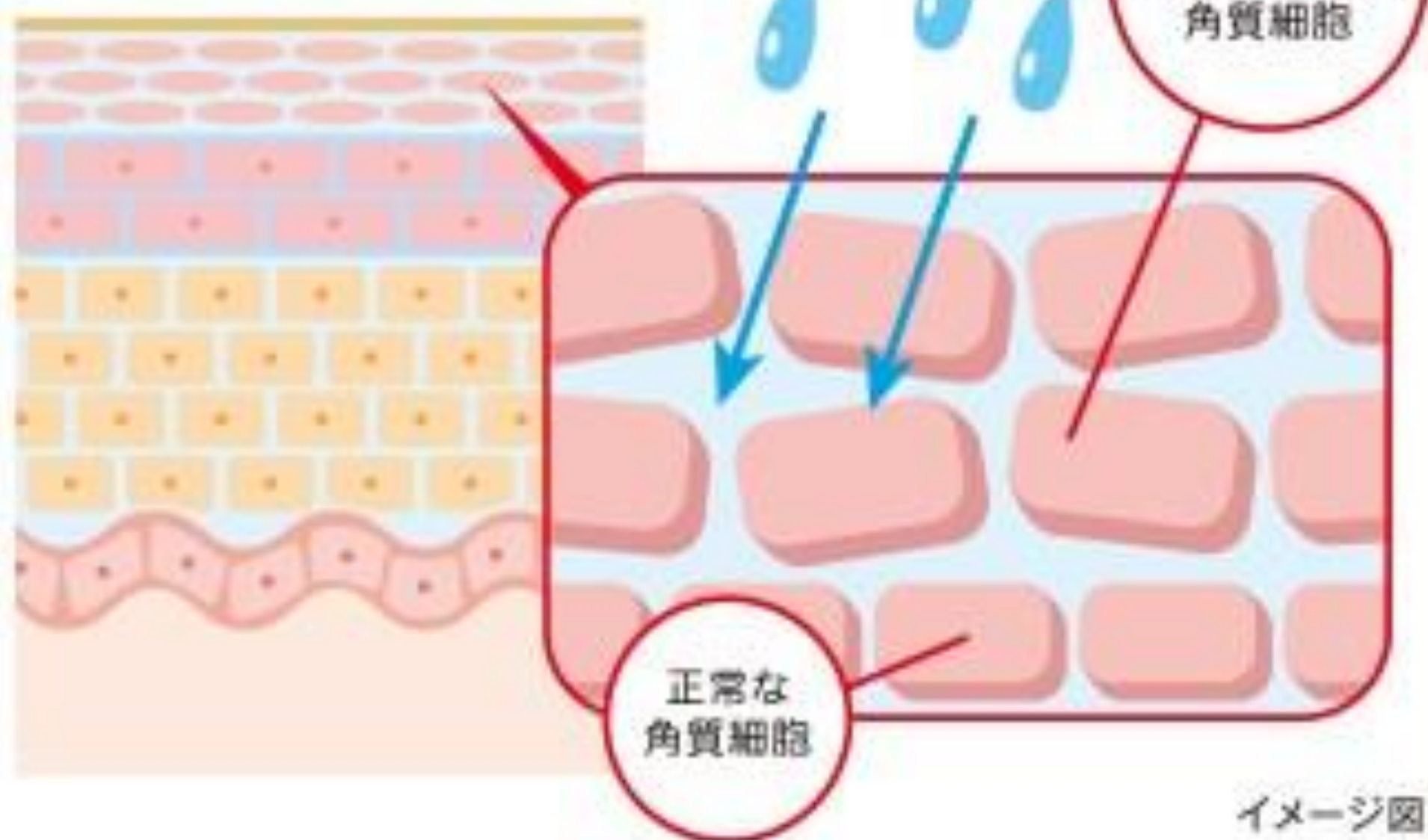


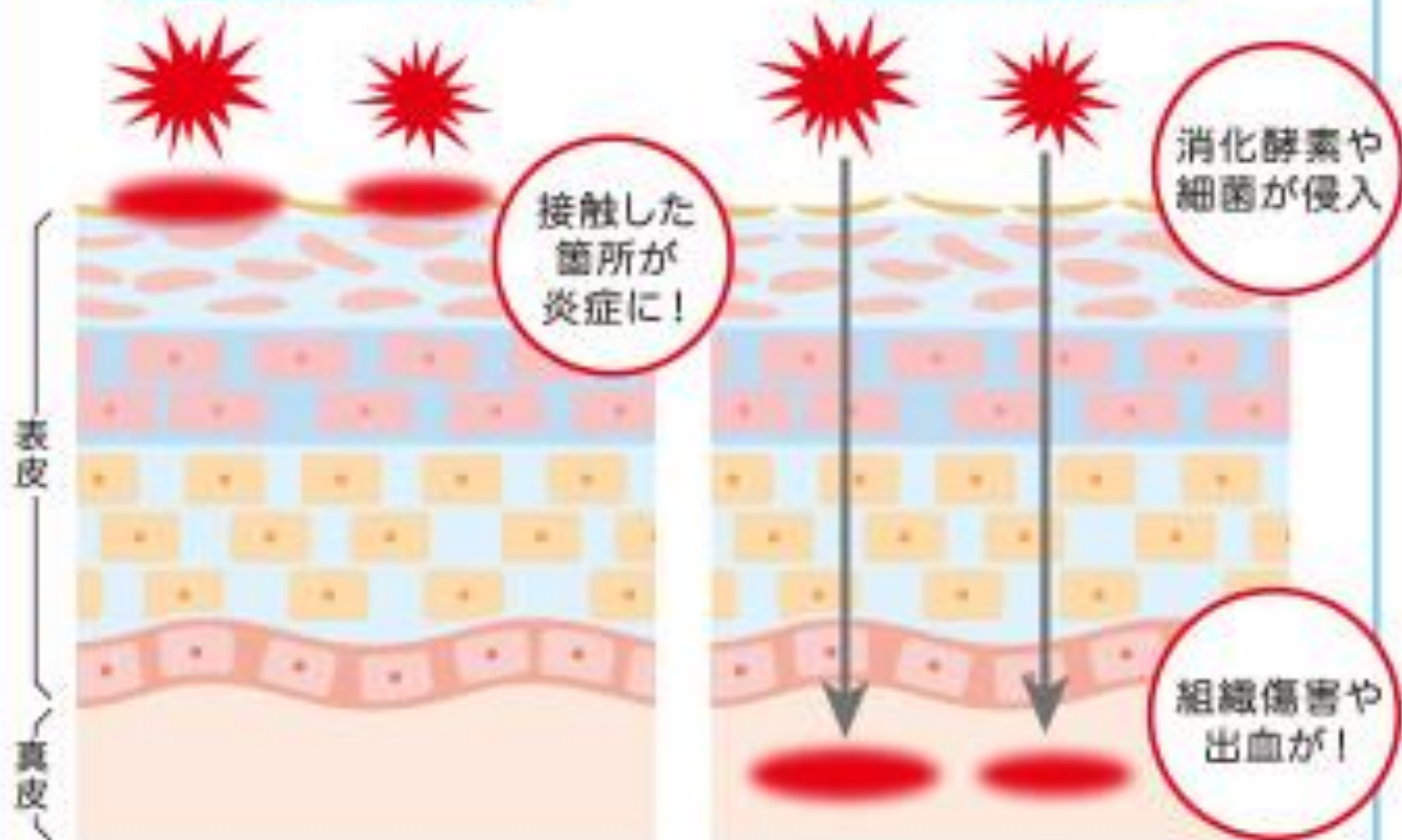
図3

外から、内から！ IADで起こる2つの損傷

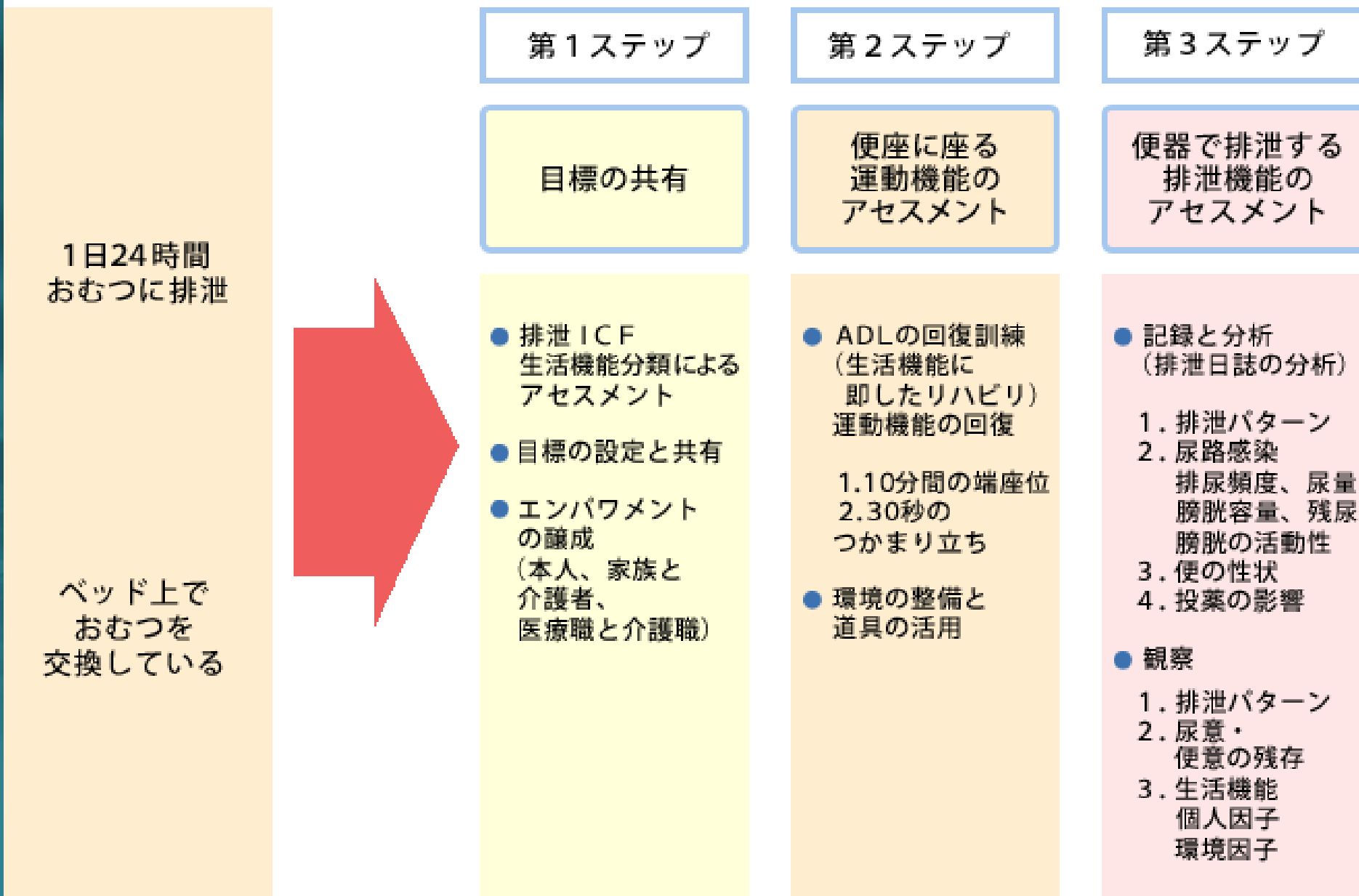
イメージ図

皮膚表面の組織損傷

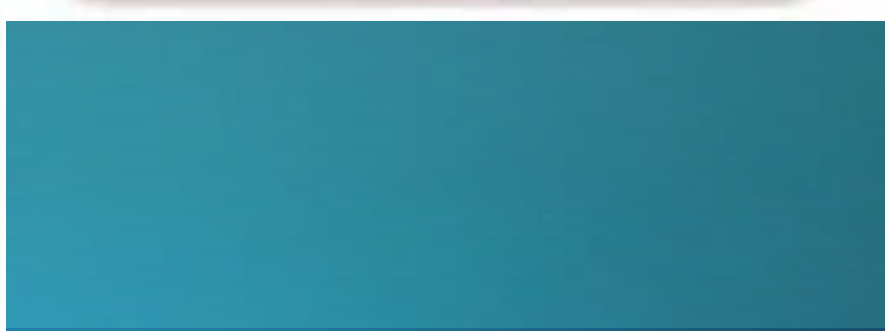
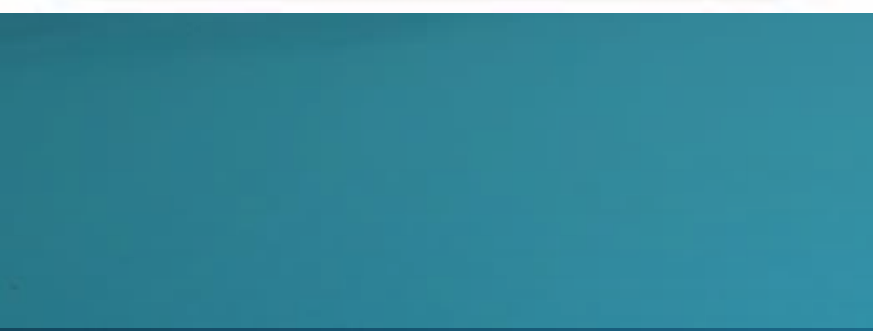
内部の組織損傷

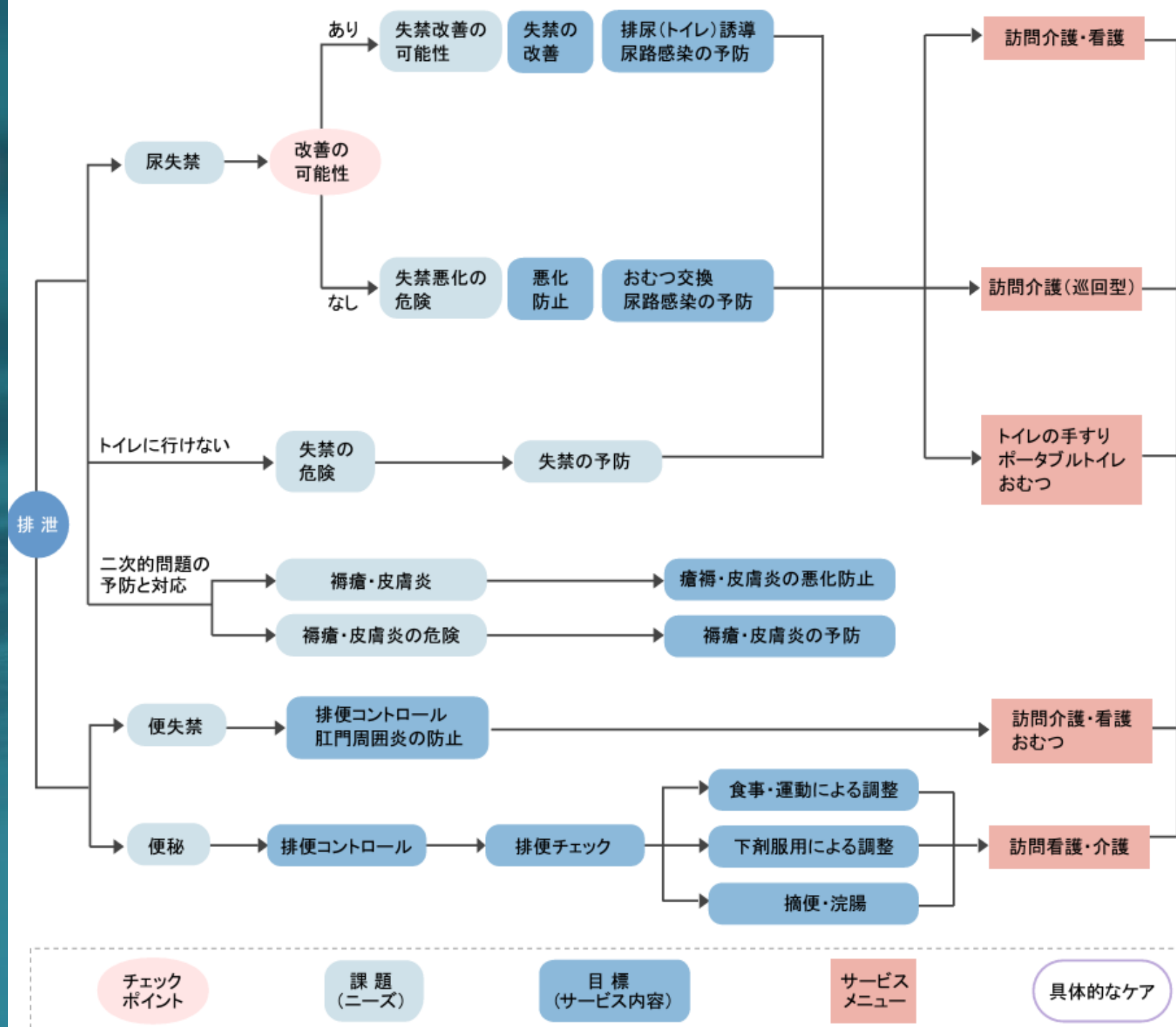


# 自立排泄支援の段階的アプローチ

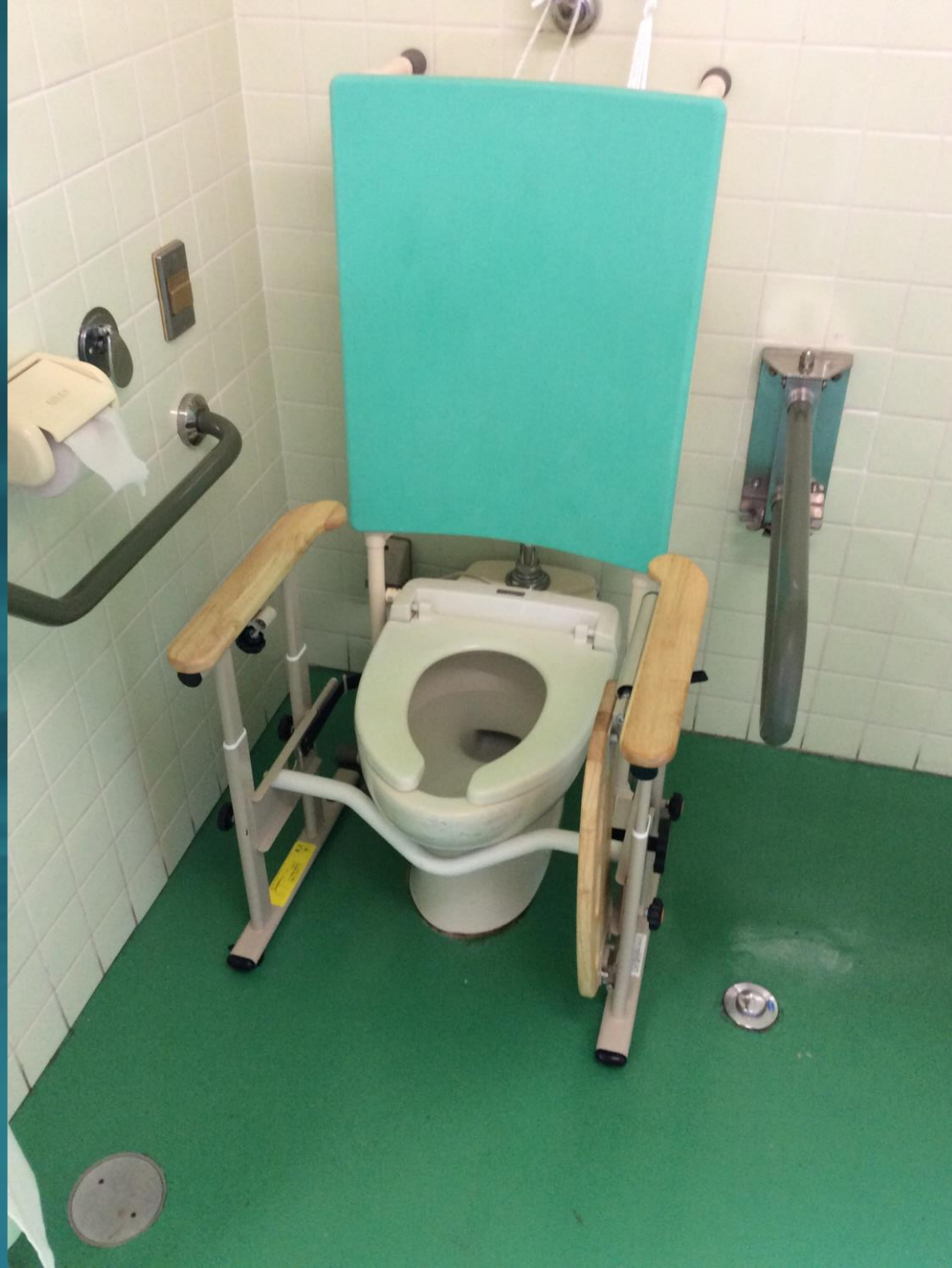








チェック ポイント	課題 (ニーズ)	目標 (サービス内容)	サービス メニュー	具体的なケア
--------------	-------------	----------------	--------------	--------



# Aさん

- ・介助があれば立位保持可
- ・座位の時に自身で立ち上がる事あり
- ・バランスはうまくとれず転倒リスクあり





# Bさん

- ・介助があれば立位保持可
- ・うまく座れず勢いよく後ろに行ってしまう
- ・座位保持は短時間しか出来ない



Cさん

- ・介助で歩行可能

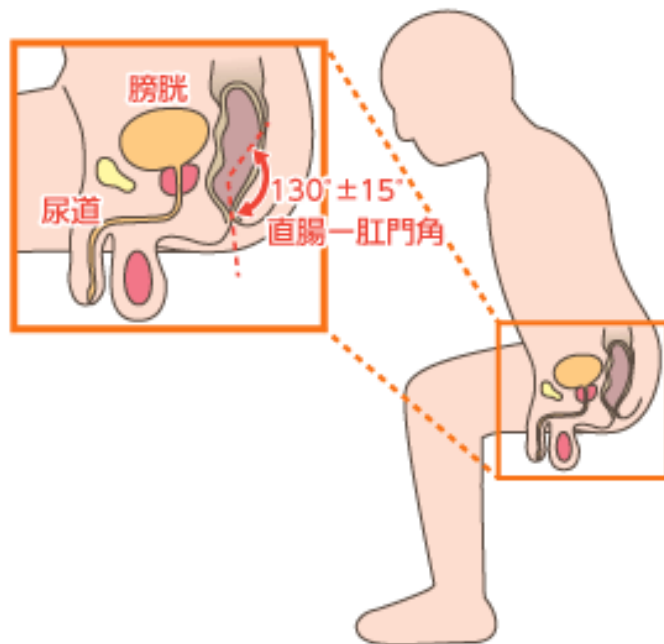
- ・自身で立ち上がる事もあり転倒リスク

- ・見当識障害・放尿・ろう便あり

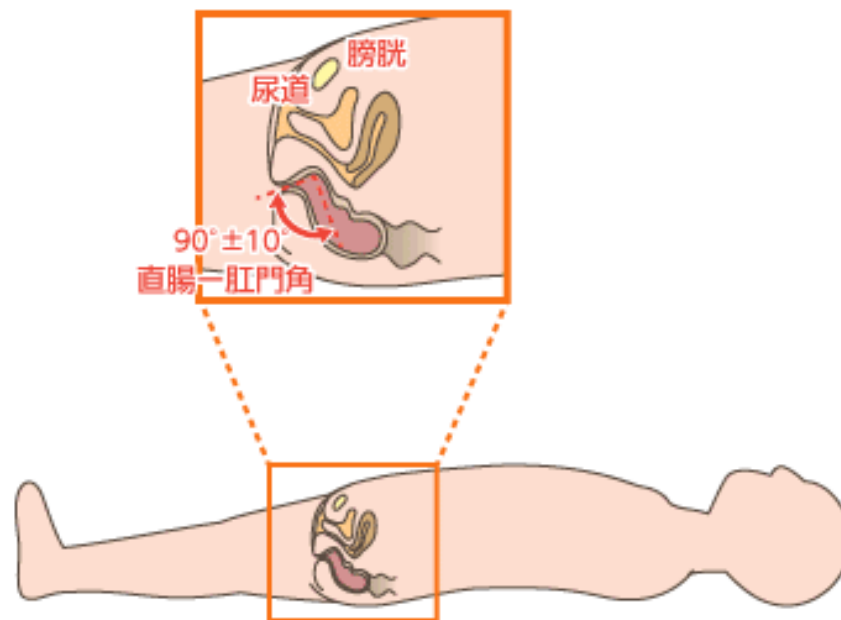


# 排便しやすい姿勢

## 前かがみの座位



## 仰臥位



### 排便に必要な3つのチカラ

- 1 便を動かすチカラ (蠕動運動)  
直腸の収縮するチカラ
- 2 上から下へ落とすチカラ
- 3 いきむ (ふんばる) チカラ



## 仰臥位

直腸と肛門の角度が直角になるので、折れ曲がったパイプの下から上に便を押し上げて排出することになる。足をつけるところがないので、いきめない。

## 前かがみ座位

直腸と肛門の角度が鈍角になるので、まっすぐなパイプの上から下へ、重力の法則に従って、便を落とすことになる。足を床につき、かかとを浮かすことで、腹筋を使っていきみことができる。

# 排泄データ（一部抜粋）

方法	排便	便天候	便性状	便量	排尿	尿天候
オムツ						○
入浴		○	軟	●普通量		○
トイレ		○	普通	●S便		○
オムツ		○	軟	●S便		○
オムツ						○
トイレ		○	普通	●普通量		○
オムツ						○
オムツ		○		●S便		○
トイレ		○		●S便	○	○
オムツ		○		●S便		○
トイレ				付着	○	○
トイレ						○
トイレ						○
トイレ						○
オムツ		○		●S便		○
オムツ						○
トイレ	○			▲S便		○
トイレ					○	○
トイレ					○	○
オムツ						○
オムツ						○
オムツ						○
パット						○
トイレ					○	○
トイレ					○	○
オムツ						○
トイレ						○
トイレ		○	普通	●S便		○
トイレ		○	普通	●多量		○
オムツ				●S便		○
トイレ				●S便		○
トイレ						○
オムツ						○
オムツ						○
入浴		○	軟	●S便		○

方法	排便	便天候	便性状	便量	排尿	尿天候
トイレ					○	○
トイレ						○
パット		○	普通	●普通量		○
トイレ	○			▲普通量		
トイレ					○	
トイレ					○	○
希望下					○	○
トイレ					○	○
トイレ					○	○
トイレ					○	○
トイレ					○	○
トイレ			軟	●S便		○
トイレ		○	軟	●S便		○
トイレ		○	普通	●S便	○	○
トイレ		○		●S便		○
入浴				●S便		○
トイレ					○	○
トイレ					○	○
トイレ					○	○
トイレ					○	○
トイレ					○	○
オムツ					○	○
トイレ	○	○	普通	▲●普通		○
トイレ					○	○
トイレ						○
トイレ						○
トイレ						○
トイレ						○
トイレ	○	○	軟	▲●普通		○
トイレ						○
トイレ						○
トイレ						○
トイレ					○	○
トイレ		○	軟	●普通量		○
トイレ						○
トイレ						○
トイレ						○
トイレ	○		普通	▲S便	○	○
トイレ	○	○	普通	▲●普通	○	○
トイレ						○
トイレ						○
トイレ						○
トイレ						○
トイレ	○					○
トイレ						○
トイレ						○
トイレ						○
入浴					×	
トイレ	○			▲S便	○	○
トイレ						○
トイレ						○
トイレ						○
トイレ	○			▲多量	○	○

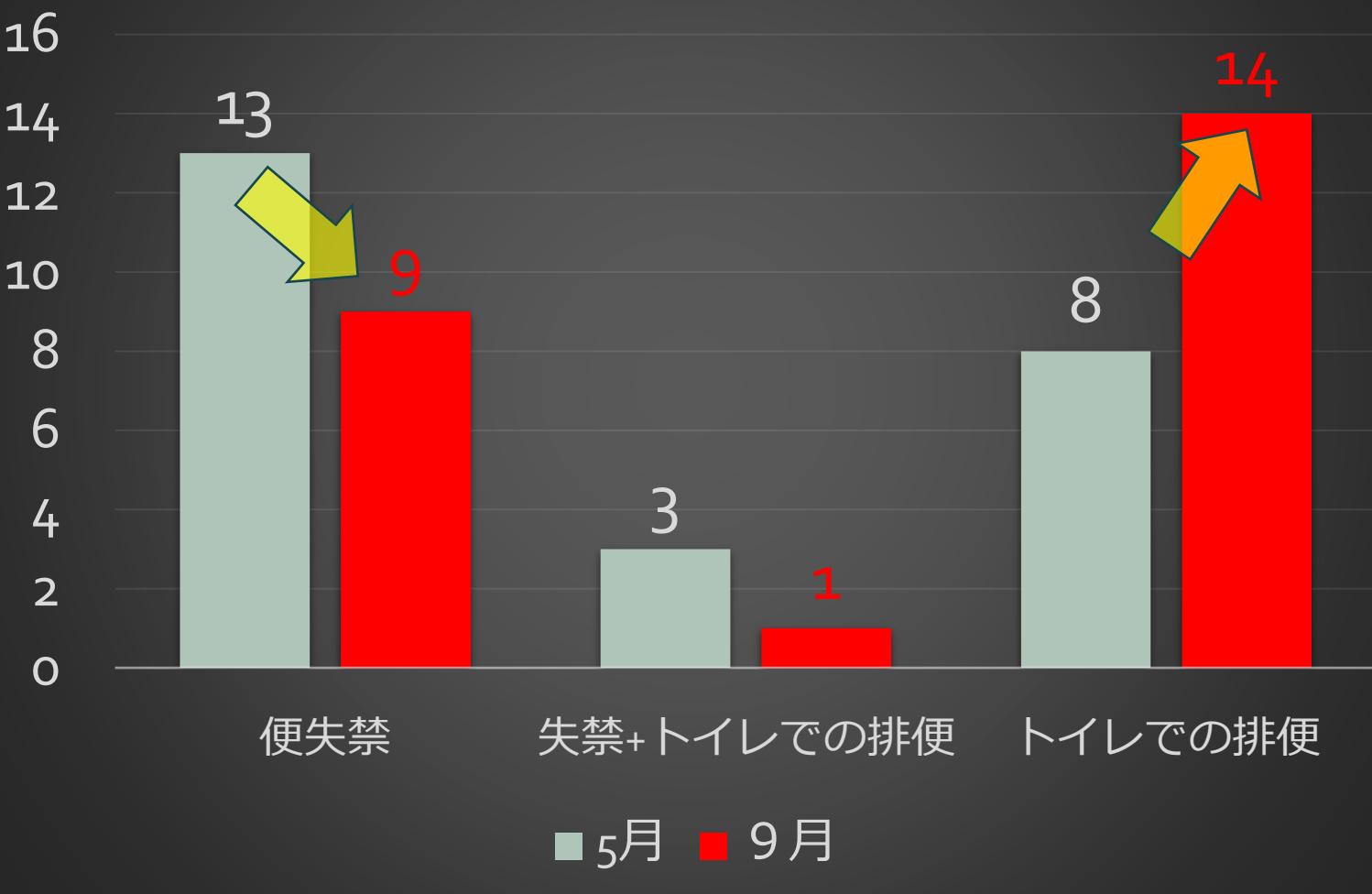
方法	排便	便天候	便性状	便量	排尿	尿天候
トイレ						○
トイレ						○
トイレ		○	軟	●普通量		○
トイレ	○	○	普通	▲●普通	○	○
トイレ		○		●S便		○
入浴		○	軟	●普通量		○
トイレ		○	普通	●S便		○
トイレ					○	
トイレ						○
トイレ						○
トイレ						○
トイレ						○
トイレ						○
トイレ						○
トイレ						○
トイレ						○
トイレ						○
トイレ						○
トイレ						○
トイレ		○	軟	●普通量	○	○
トイレ						○
トイレ						○
トイレ						○
トイレ	○		普通	▲S便	○	○
トイレ	○	○	普通	▲●普通	○	○
トイレ						○
トイレ						○
トイレ						○
トイレ						○
トイレ						○
トイレ						○
トイレ						○
トイレ						○
トイレ	○			▲S便		○
トイレ				付着		○
入浴						○

## 具体的な排泄ケア計画

排泄ケアのパターン	排泄する場所	排泄補助装具(おむつ)	
		<b>アウター</b> (外側のパンツ・おむつ)	<b>インナー</b> (内側のパッド)
①排泄見守り ②排泄支援	主としてトイレ・ポータブルトイレ(ほとんど成功たまに失敗)	※本人のADLと本人の嗜好で選択	※パッドは吸収量と形状から選択
③トイレ誘導 ④ポータブルトイレ誘導 ⑤尿器・便器介助	トイレ、ポータブルトイレでうまくいったり、失敗したり(失敗の時:おむつ)	布パンツ 紙パンツ	アウターとの整合性、尿量、便の性状、体型、排泄時の体位(立位、座位、仰臥位、側臥位)による排泄物の流れ、交換頻度(介護力や夜間の睡眠優先等)に合わせて、吸収力と形状から選択
⑥トイレ・ポータブルトイレで立位おむつ交換 ⑦トイレ・ポータブルトイレで座位おむつ交換	主として、おむつ(成功の時:トイレ・ポータブルトイレに排泄)		
⑧ベッドで臥位おむつ交換	全ておむつ	テープ止め	



Aさん

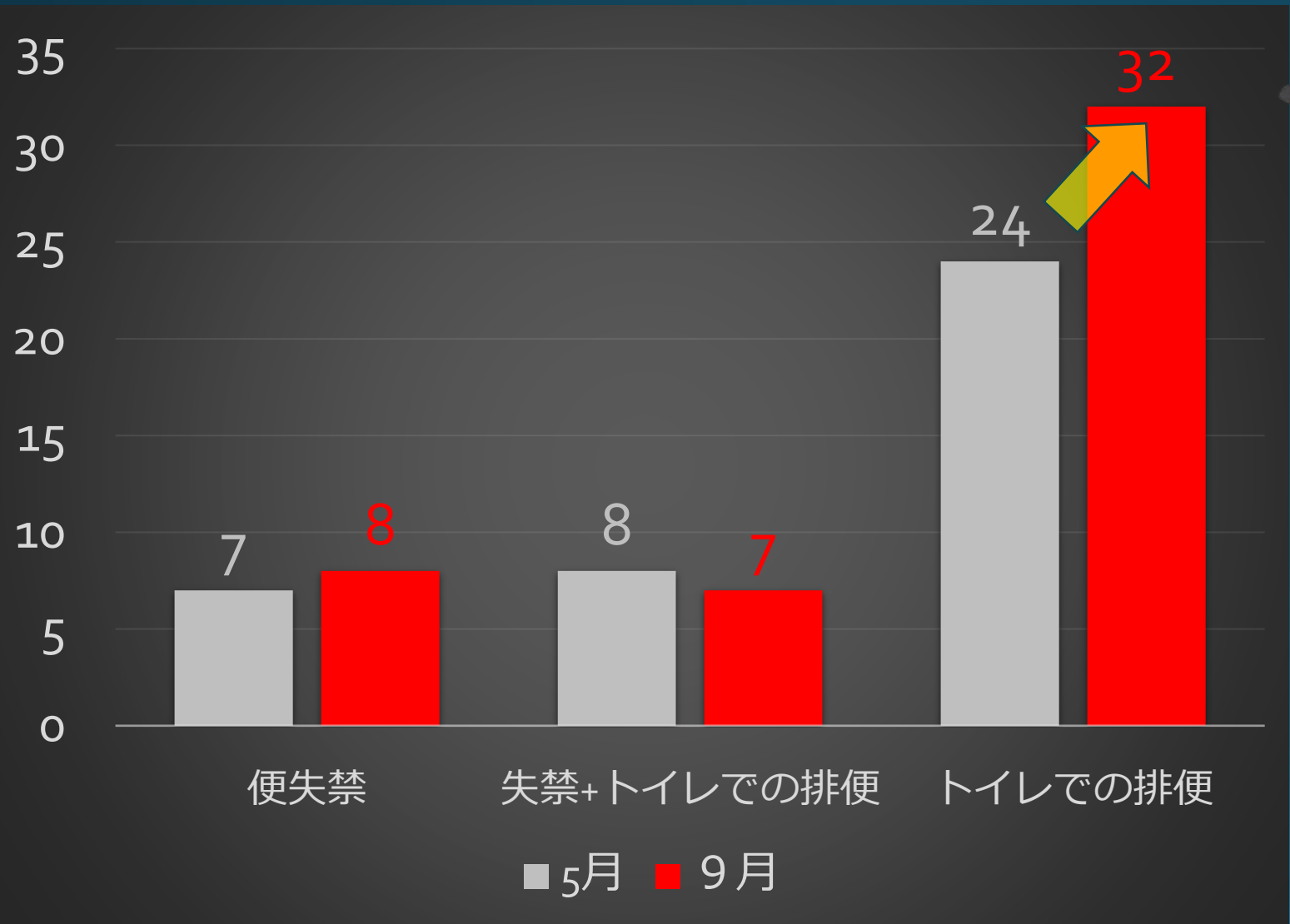


• 便失禁 3 割減

• トイレで排便  
7 割増



Bさん



- トイレで排便  
2割増

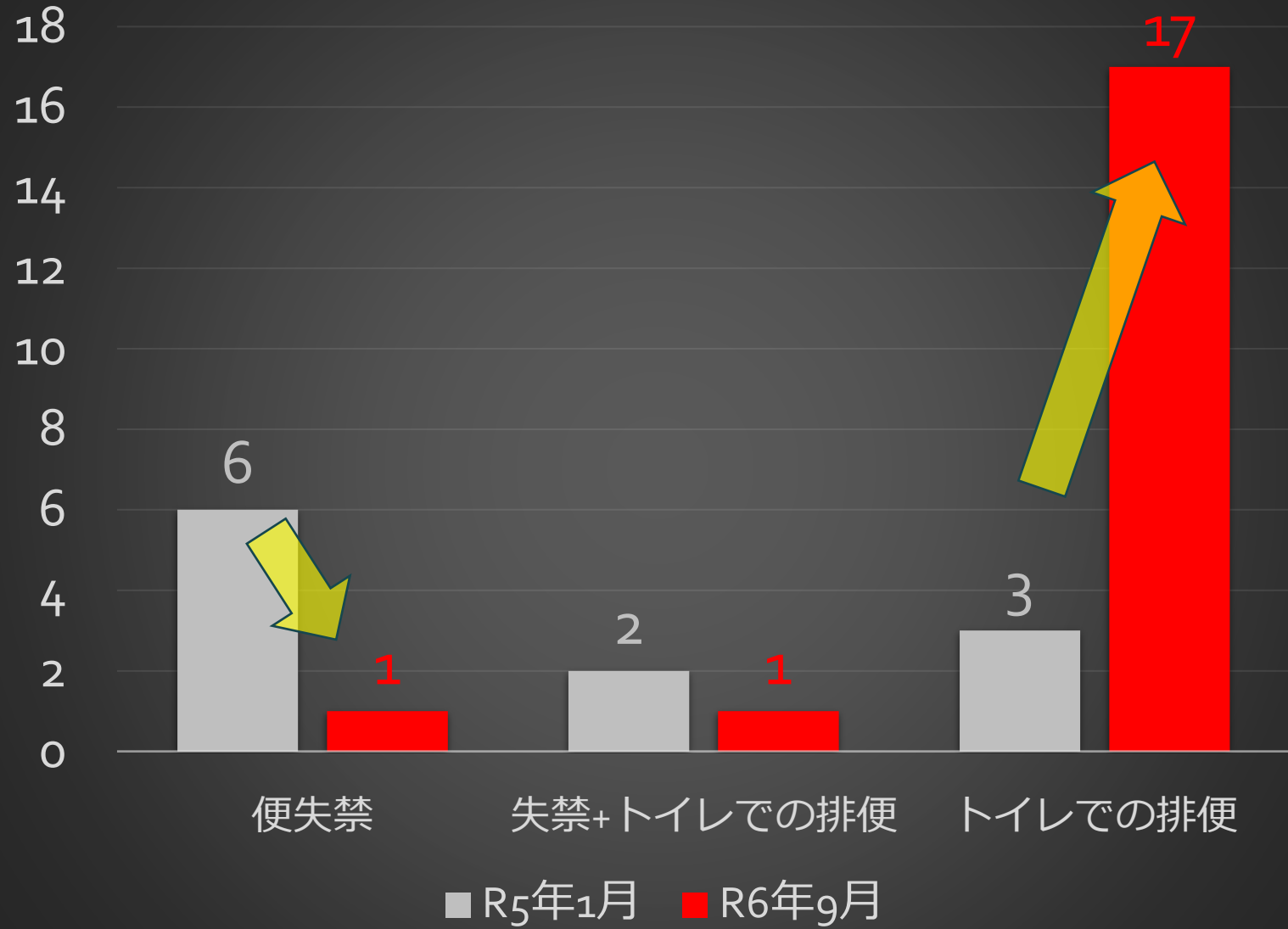


Kさん

• 便失禁 8 割減

• トイレで排便

5 倍増





# 取り組みによる変化

姿勢の向上

意識改革

安全性の向上



人材不足

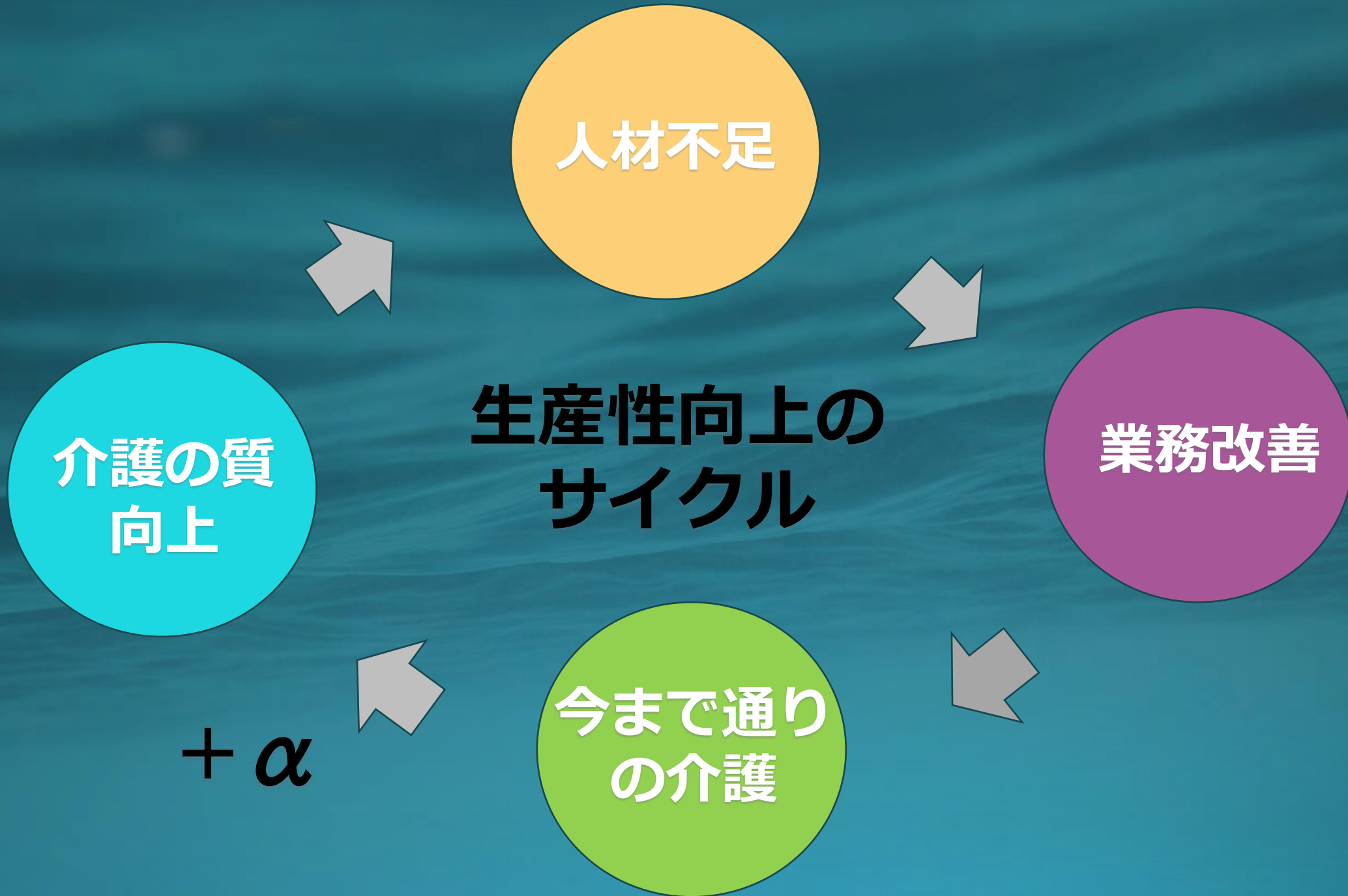
生産性向上の  
サイクル

業務改善

介護の質  
向上

今まで通り  
の介護

+  $\alpha$







ご清聴ありがとうございました

## 参考文献

- ・公益財団法人 長寿科学振興財団 健康長寿ネット  
健康長寿と腸 排泄の関係
- ・高齢者の為の排泄ケアナビ 基本編  
実践編  
応用編